



1キロ粒剤
フロアブル
ジャンボ
400FG

光る除草力!
うれしい低コスト!



光る除草力! うれしい低コスト!



ノビエやSU抵抗性雑草(ホタルイ、オモダカ等)に加えて、
厄介な特殊雑草(イボクサ、クサネム、ヒメミノハギ等)対策にも!
すばやい効き目と、長い残効性で、キラリと光る除草力を発揮。
また、水稻への安全性が高く、田植同時処理*にも最適。
省力散布が可能な剤型も取り揃え、除草コストの削減にも貢献!
効き目だけでは満足できないあなたに、オススメします。

*ジャンボ剤、FG剤は移植直後処理

ノビエ



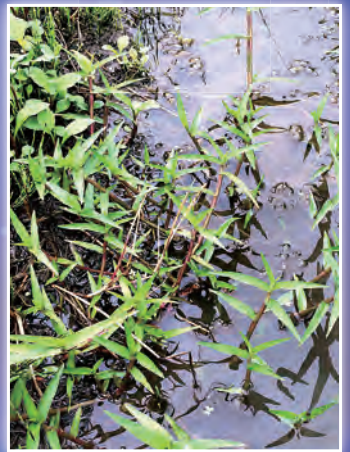
ホタルイ



コナギ



イボクサ



高効果 + 低コストの一発剤!

■殺草スペクトラム

*フロアブルはヘラオモダカに対する登録はありません。

雑草名	ノビエ	カヤツリグサ	コナギ	その他広葉	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ*	ミスガヤツリ	ウリカワ	ヒルムシロ	クログワイ	オモダカ	セリ
有効成分 および薬剤名													
ピラクロニル	●	●	●	●	●	◎	●	○	◎	◎	◎	◎	×
イマズスルフロン	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
テフリルトリオン	○	●	●	●	◎	●	●	●	●	●	◎	◎	◎
キラリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

除草効果
 ●:極大
 ◎:大
 ○:中
 △:小
 ×:無

水稲用一発処理除草剤



1キロ粒剤
フロアブル
ジャンボ
400FG

ピラクロニル

【PPO阻害剤】

効果の発現が非常に速く、ノビエ、SU抵抗性雑草など幅広い雑草に高い効果。

テフリルトリオン

【4-HPPD阻害剤(白化剤)】

SU抵抗性を含むホタルイ、コナギ、オモダカに高い効果。イボクサ、クサネムなどの特殊雑草にも有効。

イマズスルフロン

【ALS阻害剤】

難防除多年生雑草(オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ等)を始め、幅広い雑草に高い効果。

ホンバヒメミンソハギ



オモダカ



クログワイ



クサネム

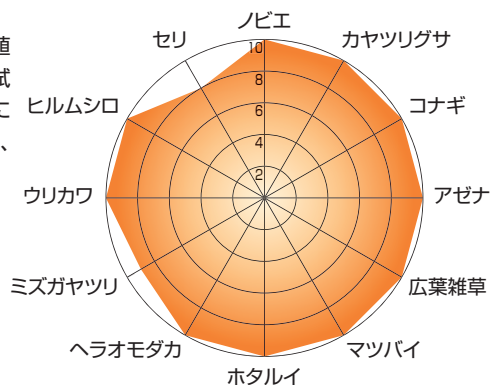


効き目だけでは満足できないあなたにオススメ!

■各草種に対する効果

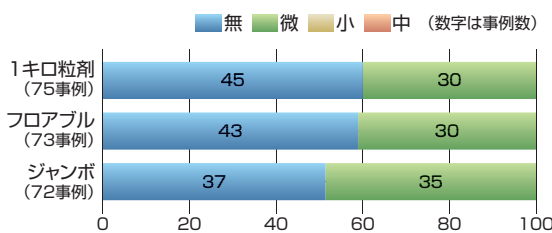
キラリの2017~2018年の日本植物調節剤研究協会(日植調)委託の試験データを、各種水田雑草の残草量に基づき下表の通りの点数付けを行い、レーダーチャートを作成しました。

残草量	点数
1%未満	10
1~2%未満	9
2~10%未満	8
10~20%未満	6
20~40%未満	4
40%~	0



■水稲に対する安全性

(2017~2018年日植調委託試験データまとめ 試験数220事例)

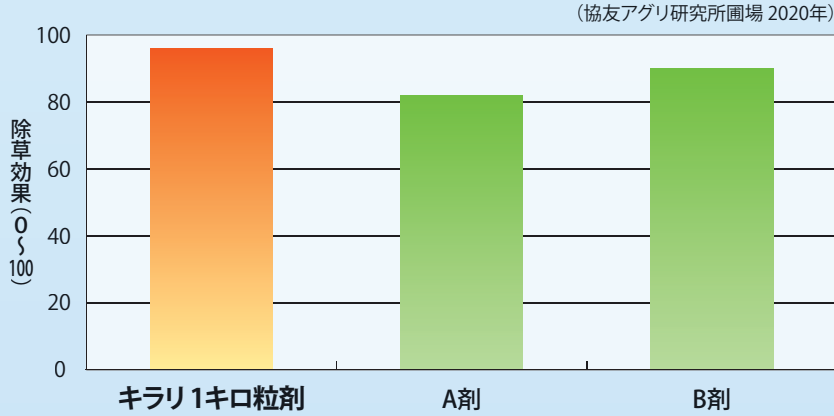


全事例で、薬害が無~微であり、水稲に対する高い安全性が確認された。

ノビエ・クログワイにも、光る除草力!



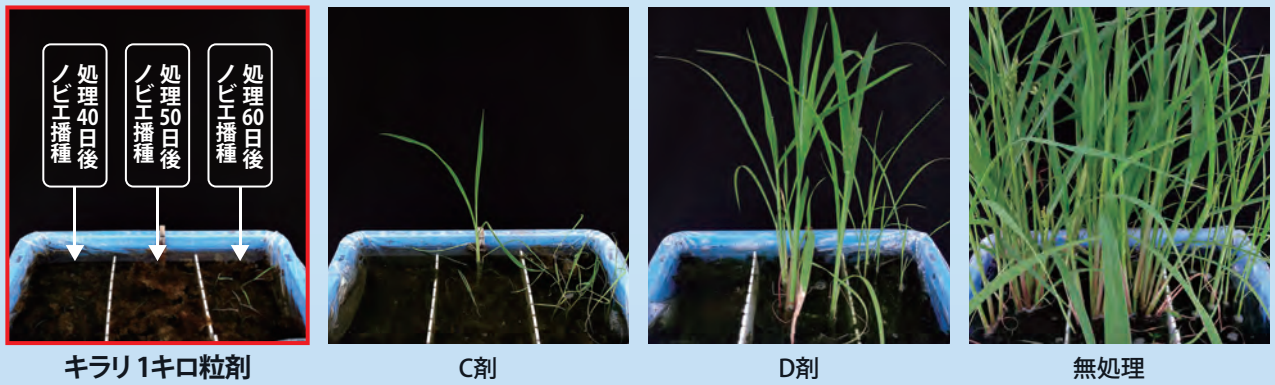
■ ノビエ2.5葉期に対する効果と持続性



供試薬量: 1kg/10a
 処理時期: ノビエ2.5葉期 (6月15日)
 調査時期: 処理42日後
 除草効果: 0 (効果無) ~ 100 (完全枯殺)

2.5葉期のノビエに対して高い効果を示し、長期間ノビエの発生を抑えた。

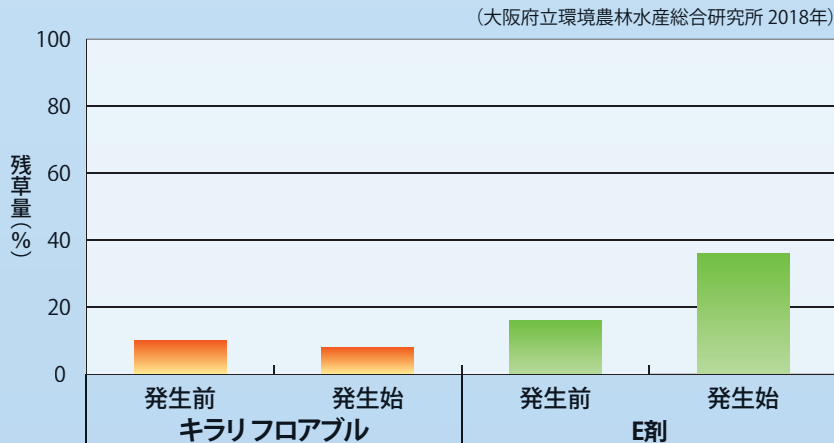
■ ノビエに対する残効



試験規模: コンテナ (232×133mm)
 供試薬量: 1kg/10a
 供試草種: タイヌビエ
 播種時期: 処理40日後、50日後、60日後
 調査時期: 処理90日後

ノビエに対して長期残効が認められた。

■ クログワイに対する効果



供試薬量: 500ml/10a
 処理時期: 発生前 (6月22日)
 発生始 (7月2日)
 調査時期: 発生前 処理40日後、
 発生始 処理30日後

E剤と比較してクログワイを強く抑制した。

☆☆ SU抵抗性雑草にも、光る除草力!

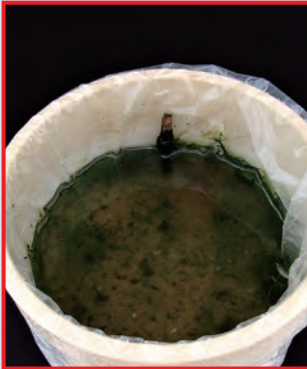


ホタルイ

オモダカ

■ SU抵抗性ホタルイ2葉期に対する効果

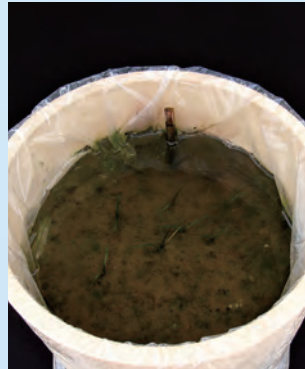
(協友アグリ研究所 2019年)



キラリ1キロ粒剤



F剤



G剤



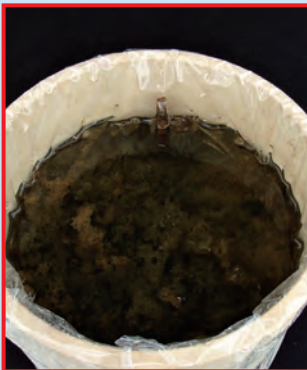
無処理

SU抵抗性ホタルイに対して高い効果を示した。

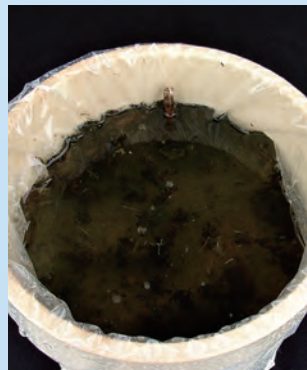
試験規模: 1/5000a
 供試薬量: 1kg/10a
 供試草種: SURホタルイ (Pro197変異)
 調査時期: 処理40日後

■ SU抵抗性ホタルイに対する残効

(協友アグリ研究所 2019年)



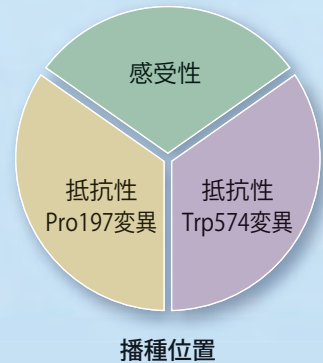
キラリ1キロ粒剤



H剤



無処理



各種ホタルイに対して、H剤と同等の長期残効を示した。

試験規模: 1/5000a
 供試薬量: 1kg/10a
 播種時期: 処理60日後
 調査時期: 播種90日後

■ SU抵抗性オモダカ発生始期に対する効果

(協友アグリ研究所 2019年)



キラリ1キロ粒剤



I剤



無処理

SU抵抗性オモダカに対して、I剤に優る高い効果を示した。

試験規模: 1/5000a
 供試薬量: 1kg/10a
 供試草種: SURオモダカ (Trp574変異)
 調査時期: 処理20日後

特殊雑草にも、光る除草力!



ホソバ
ヒメミノハギ



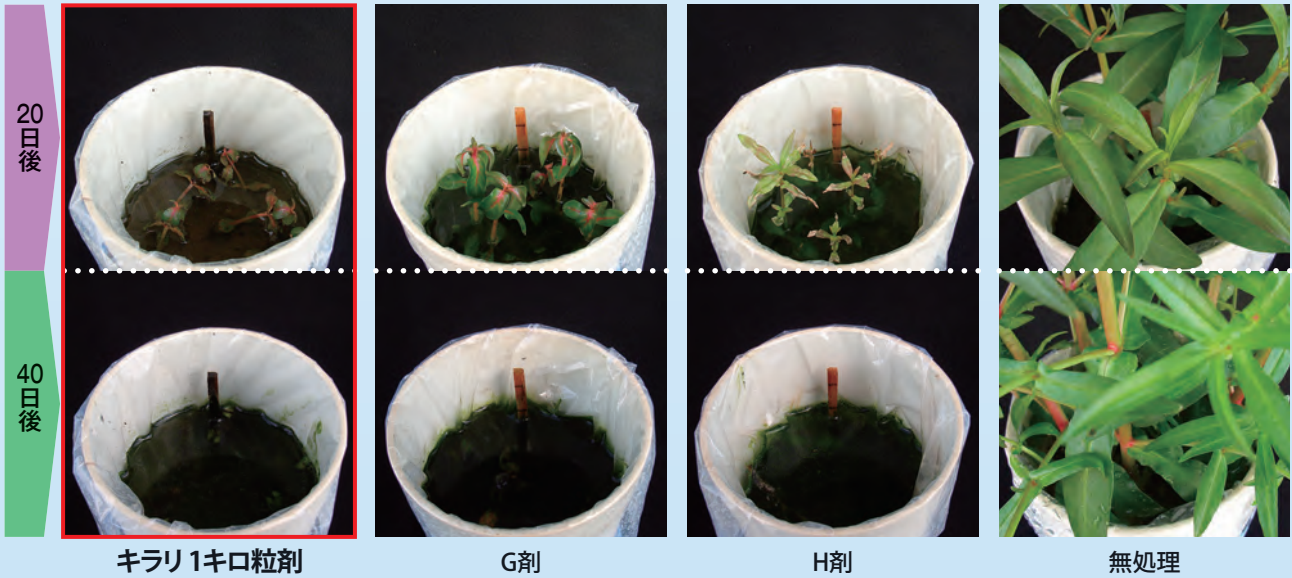
イボクサ



クサネム

■ ホソバヒメミノソハギの3対期に対する効果

(協友アグリ研究所 2018年)



ホソバヒメミノソハギに対して、速効的かつ高い効果を示した。

試験規模: 1/10000a
供試薬量: 1kg/10a
供試草種: ホソバヒメミノソハギ

■ イボクサ(切断茎)に対する効果

(協友アグリ研究所 2018年)



イボクサに対してG剤に優る高い効果を示した。

試験規模: 1/5000a
供試薬量: 1kg/10a
供試草種: イボクサ(2節切断茎を埋め込み、5日後に処理)
調査時期: 処理40日後

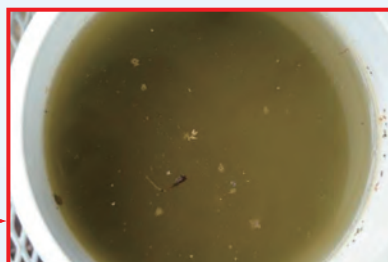
参考 ピラクロニルのクサネムに対する残効

(協友アグリ研究所 2013年)

水管理: 代かき翌日に薬剤処理を実施。
播種まで湛水深3cmを維持。播種当日に排水し、
10日間で干し状態を維持した後、再度入水。

試験規模: 1/5000a 播種時期: 処理50日後
供試薬量: 20g/10a 調査時期: 処理80日後
供試草種: クサネム

クサネムに対して
長期残効を示した。

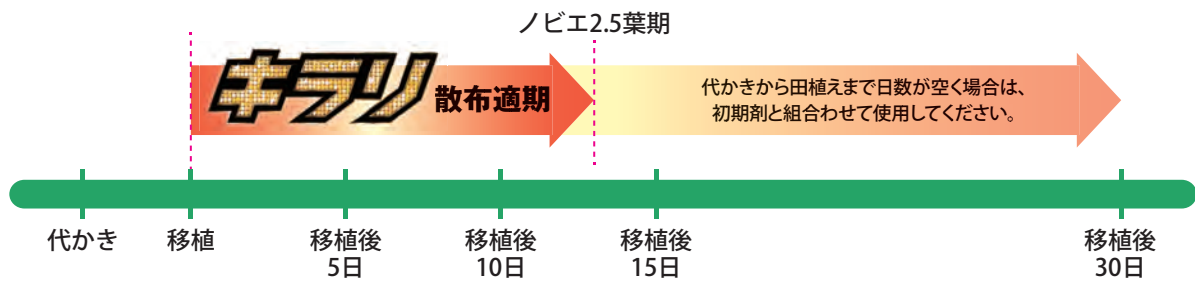


ピラクロニル (20g/10a)



無処理

■キラリの上手な使い方



多年生雑草は、発生期間が長期間に及ぶので、多発生圃場等では有効な後処理剤と合わせて使用してください。散布適期は地域により違いがあります。図の散布適期は平均的な日数となっています。

■使い勝手が良く、省力的な処理が可能



■簡単&省力! 話題の新製剤「FG剤*」

*FG剤とはFloating Granuleの頭文字をつなげた略語で、「自己拡散型浮遊粒剤」を意味します。

省力散布の実現に大きく貢献する、FG剤。その特長とメリットをご紹介します。

- FG剤は水面に浮きながら速やかに自己拡散する製剤です。
- 有効成分は風と圃場の水流により、圃場全体に拡がります。
- 1ha規模の大規模圃場でも、中に入って散布する必要はありません。
- 作業労力や散布時間を軽減する省力散布が可能です。
- 畦畔散布(湛水周縁散布)に加えて、多くのドローン機種で散布可能です。

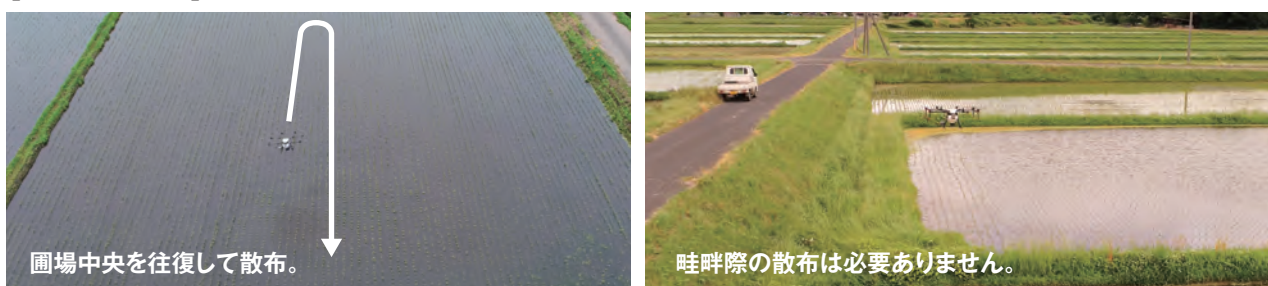
動画はこちらから!



【畦畔散布】



【ドローン散布】 薬剤は一筆ごとに計量が必要です。



適用雑草の範囲及び使用方法

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

キラリ 1キロ粒剤 ■有効成分：ピラクロニル：2.0% イマズスルフロン：0.90% テフリルトリオン：2.0% ■人畜毒性：普通物* ■農林水産省登録：第24327号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数	
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ヘラオモダカ ミスガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1kg/10a	田植同時 散布機で施用	本剤 ピラクロニル剤 イマズスルフロン剤 テフリルトリオン剤	1回 2回 2回
	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	温水散布 又は 無人航空機 による散布				
直播水稲	一年生雑草及び ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで				

雑草名	散布適期
ノビエ	2.5葉期まで
ホタルイ、ウリカワ	2葉期まで
ヘラオモダカ	4葉期まで
ミスガヤツリ	草丈15cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前～発生始期

キラリ フロアブル ■有効成分：ピラクロニル：3.8% イマズスルフロン：1.7% テフリルトリオン：3.8% ■人畜毒性：普通物* ■農林水産省登録：第24488号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数	
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	500mℓ /10a	田植同時 散布機での施用	本剤 ピラクロニル剤 イマズスルフロン剤 テフリルトリオン剤	1回 2回 2回
	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	原液温水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下				
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで				

雑草名	散布適期
ノビエ	2.5葉期まで
ホタルイ	2葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ミスガヤツリ	草丈15cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生始期まで

キラリ ジャンボ ■有効成分：ピラクロニル：5.0% イマズスルフロン：2.25% テフリルトリオン：5.0% ■人畜毒性：普通物* ■農林水産省登録：第24489号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数	
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (400g) /10a	水田に 小包装(パック) のまま 投げ入れる	本剤 ピラクロニル剤 イマズスルフロン剤 テフリルトリオン剤	1回 2回 2回
	直播水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ				

雑草名	散布適期
ノビエ	2.5葉期まで
ホタルイ、ヘラオモダカ	2葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ミスガヤツリ	草丈15cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

キラリ 400FG ■有効成分：ピラクロニル：5.0% イマズスルフロン：2.25% テフリルトリオン：5.0% ■人畜毒性：普通物* ■農林水産省登録：第24490号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数	
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	400g/10a	温水散布、 温水周縁散布 又は 無人航空機 による散布	本剤 ピラクロニル剤 イマズスルフロン剤 テフリルトリオン剤	1回 2回 2回
	直播水稲	一年生雑草及びマツバイ ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ				

雑草名	散布適期
ノビエ	2.5葉期まで
ホタルイ、ヘラオモダカ	2葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ミスガヤツリ	草丈15cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

使用上の注意事項 (一部抜粋)

- 【4剤型に共通する注意事項】**
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
 - 本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の温湿状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けはいていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にいていねいに行ってください。
 - 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
 - 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件下では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
 - 除草効果が低下するおそれがあるので、著しい降雨が予想される場合は使用を控えてください。
 - 本剤は、その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
 - いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
 - 本剤散布後の田面を他作物に灌水しないでください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めての使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - 散布後は水管理に注意してください。
 - 【1キロ粒剤、フロアブル、FGに共通する注意事項】**
 - 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
 - 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋・空容器等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
 - 壺に対して影響があるので、周辺の薬業にはかからないようにしてください。
 - 【1キロ粒剤、FGに共通する注意事項】**
 - 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
 - 無人航空機による散布で使用の場合は、飛散しないよう特に注意してください。
 - 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
 - 【ジャンボ、FGに共通する注意事項】**
 - 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの温湿状態に保ってください。
 - 【1キロ粒剤の注意事項】**
 - 散布に当たっては、水の出入りを止め温湿状態(3～5cm)で均一に散布してください。
 - 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 - 【フロアブルの注意事項】**
 - 使用前に容器を軽く振ってください。
 - 原液温水散布に当たっては、水の出入りを止め温湿状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。
 - 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の温湿状態に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
 - 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 無人航空機による滴下で使用の場合は、飛散しないよう特に注意してください。
 - 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密封して保管してください。
 - 【ジャンボの注意事項】**
 - 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に投げ入れてください。
 - パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破棄することがないようにしてください。
 - 薬や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
 - 水溶性フィルム包装が破滅した場合は以下の点に注意してください。眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
 - 空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
 - 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないよう注意してください。
 - 直射日光を避け、食品と区別して、子供の手の届かないなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
 - 【FGの注意事項】**
 - 薬や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので温湿状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - 事前(薬剤の物理性に合わせて)粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れた位置から圃場内に散布してください。
 - (5)水源地、飲料水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
 - 空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届くところに置かないでください。★空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

*本資料の記載内容は2021年7月現在の登録内容に基づいています。

JAグループ
農協 | 全農 | 経済連
登録商標 第4702318号

協友アグリ株式会社
東京都中央区日本橋小網町6-1
https://www.kyoyu-agri.co.jp